

令和5年2月16日

厚生労働省健康局総務課
原子爆弾被爆者援護対策室長 様

長崎県福祉保健部長
長崎市原爆被爆対策部長

長崎の黒い雨の記録に関する調査について（要望）

原爆被爆者の援護等につきまして、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

去る1月16日、貴室から「長崎の黒い雨等に関する専門家会議報告書」について「長崎については、原爆投下後間もなく降雨があったとの客観的な記録がないことや、被爆地域として指定されていない地域では、身体に原子爆弾の放射能の影響を受けるような事情の下にあったとはいえないことを判示した判決が確定している。このような長崎の被爆体験者にかかる裁判での判決において事実認定がなされている以上、」「これと整合性を欠く施策を行うことは困難である」との見解が示されました。

一方で「平成30年福岡高裁判決は「長崎周辺の地域で、西山地区以外に原爆投下後間もなく降雨があったとの客観的な記録は見当たらない」と判示しており、これを覆すに足るだけの根拠があるか検討する必要があると認識しているところ、引き続き、長崎県・長崎市の意見をよく聞きながら、対話を続けてまいりたいと考える」との見解も示されたところです。

この見解を受けて、長崎周辺の地域で西山地区以外に降雨があったことを示す可能性がある記録の分析・調査について、下記のとおり要望いたします。

何卒、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

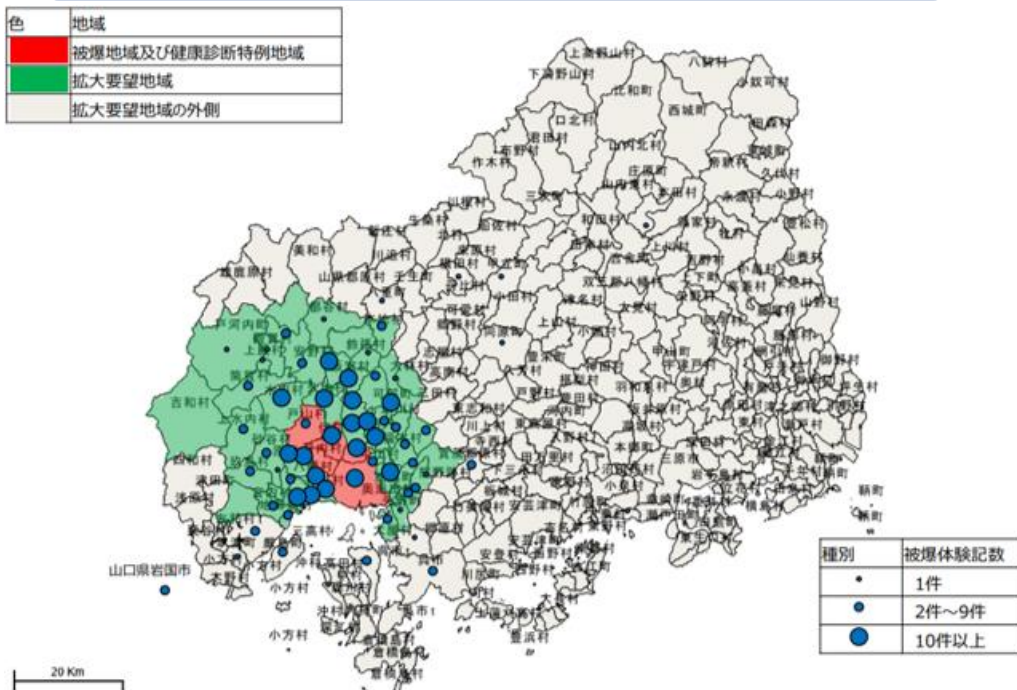
次の資料について分析・調査していただきたい。

1. 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記
2. ABCC が実施した残留放射線と降下物の研究結果（分布図含む）

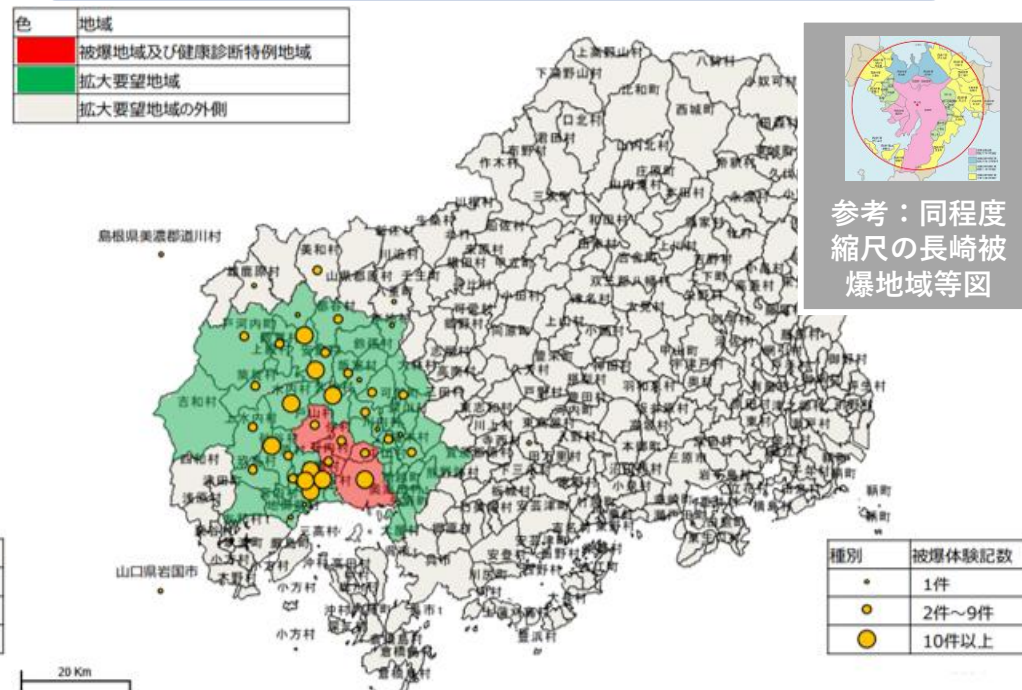
要望1 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記を調査していただきたい。

- 令和4年4月28日に開催された第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会（第6回）において、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記150,439件を調査した結果が資料として示されたところです。
- 調査結果として市町村の記載がある雨の情報が1,599件あり、地図に示された雨の記述がある範囲は、被爆地域及び健康診断特例地域の範囲を大きく上回るものでした。
- 長崎では、平成30年福岡高裁判決において「（本件証拠上、）長崎周辺の地域で、西山地区以外に原爆投下後間もなく降雨があったとの客観的な記録は見当たらない」と判示されていますが、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記は、被爆地域以外での降雨に関する客観的な証拠となりえるのではないかと考えています。
- また、広島においては、飛散降下物の調査も行われていることから、長崎も同様に調査をお願いしたいと考えています。その際には、広島において対象とした泥、チリ、スス、埃、ゴミ、紙、布、草木、ソギ板、トタンなどに加え、長崎で証言が多い「灰」「燃えかす」など飛散降下物を広く対象としていただきたいと思います。

R4.4.28 第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会資料
：市町村別の8月6日の雨の記述がある被爆体験記数



R4.4.28 第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会資料
：8月6日の飛散降下物の状況



要望2 ABCCが実施した残留放射線と降下物の研究結果（分布図含む）を調査していただきたい。

- ・ 令和3年3月18日に開催された第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会（第3回）において、原爆障害調査委員会（ABCC）関係資料が、参考資料1として示されたところです。
- ・ この資料については、令和3年7月2日に開催された第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会（第4回）において、増田構成員が「ABCCによって、残留放射線の綿密な調査が実施されたことを示しており、その分布図まで作成されていた可能性があることを示唆しています。」と指摘しているところであり、長崎において降雨があった記録が得られるのではないかと考えています。

R3.3.18 第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会資料

：原爆障害調査委員会（ABCC）関係資料 RESIDUAL RADIATION AND FALLOUT — 残留放射線と降下物 （抜粋）

In this investigation "rain" was reported as far as 9,500 meters north and 13,500 meters northeast of ground zero.

この調査では、「雨」は爆心地から北に9,500メートル、北東に13,500メートルまで降ったと報告されている。

account for the "oily" character of the "rain". The area blanketed by this "rain" is known as the "fall-out" area.

この「雨」で覆われた地域は、「降下物」地域として知られている。

It was felt necessary to determine as accurately as possible the location of the rainfall and a map charting the extent of the "fall-out" area has been constructed.

降雨の場所をできるだけ正確に把握する必要があると考え、「降下物」地域の範囲を図示した地図を作成した。

"fall-out" area. The total area covered for this phase of the project was more than 140 square kilometers.

プロジェクトのこの段階で対象とされた総面積は、140平方キロメートルを超えていた。

classified as uncertain. Those who gave positive answers were taken to be reliable as is now possible. These informants were able to recall incidents such as getting wet and comments about the rain among friends or members of their family. The evaluation of some of the

雨が降ったと回答した人たちは、現在可能な限り信頼できるとされている。これらの情報提供者は、雨に濡れたことや、家族や友人と雨のことを話したなどの出来事を思い出すことができた。